SUGIYAMA CLINIC

受精卵凍結融解胚移植について

保険診療で採卵された受精卵は、3ヶ月以内を目安に速やかに移植することが義務付けられています。
移植をせず長期保存する場合は、保険適用外となりますのでご注意ください。

移植方法について

① 排卵周期での胚移植

妊娠判定までの通院回数は5回程度
月経開始2〜5日目に来院、排卵日チェック(月経12日目頃)、排卵を確認し、移植日を決定(排卵1〜2日後)、移植当日(胚盤胞凍結の場合は排卵5日後)、妊娠判定(排卵日から14日後)

使用薬剤
排卵誘発剤5日間、排卵後の黄体ホルモン14日間程度
保険診療：約2000〜4000円、自費診療：約10000〜20000円

② ホルモンコントロール周期（HRC周期）での胚移植

妊娠判定までの通院は4回程度
月経開始2〜3日目に来院（ホルモン補充を行い内膜を調整)、内膜を確認し、移植日を決定（月経13日目頃)、移植当日(胚盤胞移植の場合は月経19日目頃)、妊娠判定(月経28日目頃)

使用薬剤
内服、ホルモン補充テープ、黄体ホルモンなど多数（判定まで連日）
妊娠判定まで　保険診療：約6000〜7000円、自費診療：約25000〜30000円
妊娠9週ごろまで　保険診療：約22000円、自費診療：約60000〜70000円

その他
妊娠後も約5週間薬剤を使用する移植方法です。また、長期ホルモン剤の使用により産科合併症がわずかですが増加する報告があります。

月経周期が順調な場合は「排卵周期での胚移植」、不順な場合は「ホルモンコントロール周期(HRC周期)での胚移植」で行います。月経周期が順調な場合、妊娠率に有意差はありません。「排卵周期での胚移植」で流産率が若干低い傾向があります。**決定に際し、医師との相談を希望される場合は月経開始2〜3日目に来院ください。**

費用について

	保険診療	自費診療
受精卵融解胚移植	36000円	132000円
AHA（アシストハッチング）	3000円	22000円
embryo GLUE	3000円	11000円

※ AHA（アシストハッチング）とは、受精卵の外側（透明帯）を一部除去して移植を行う方法です。
※ embryo GLUE とは、移植時に使用するヒアルロン酸培養液のことです。
※ 実施は別途ご相談ください。

先進医療について

SEET法	着床率の改善を目的に、胚盤胞培養時の培養液(SEET液)を子宮内に注入する方法。胚盤胞移植の2〜3日前に行います。実施には採卵時にSEET液を凍結保存しておく必要あり。保険診療での実施では、移植は1個と規制されています。	33000円
二段階胚移植	胚盤胞移植の2〜3日前に初期胚を移植し、胚盤胞を移植する方法。合計2個の移植となります。保険診療の場合はSEET法不成功の既往が実施必須条件となります。	120000円 新鮮胚の場合75000円

※ 先進医療とは国が認定した保険診療と自費診療を同時に行うことができる（混合診療）医療技術です。
※ 東京都ではこの先進医療に対し、助成制度（費用の70%を都が負担、条件あり）を設けています。
※ 先進医療実施には別途申込書（同意書）が必要です。